

平成25年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	35,196,000円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福社会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福社会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

(1)岐阜市北青少年会館		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数(単位:人)		9,420	11,087	12,065	12,488	12,158
各室稼働状況(%)	研修室1	63.8	57.0	63.5	56.0	61.0
	研修室2	32.7	28.9	35.9	25.6	35.1
	講義室	50.4	49.5	52.1	40.6	44.7
	体育室	38.8	75.8	76.8	78.3	70.5
	屋外コート	17.7	35.5	33.3	37.6	34.7
(2)岐阜市青山青少年会館		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数(単位:人)		6,352	7,850	6,165	8,488	6,071
各室稼働状況(%)	会議室1	23.9	21.5	29.6	21.1	15.7
	和室1	8.1	9.8	11.6	9.5	11.3
	和室2	10.9	10.7	8.8	11.5	12.4
	体育室	65.2	64.6	49.1	59.4	52.4
	屋外コート	5.6	8.1	7.3	5.7	8.2

(3) 岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数(単位:人)		5,464	6,671	6,019	6,668	6,702
各室稼働状況(%)	研修室1	47.7	51.1	53.1	43.1	54.3
	料理実習室	17.1	16.9	12.3	7.2	8.9
	体育室	51.6	54.8	54.9	61.8	58.3
(4) 岐阜市東青少年会館		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数(単位:人)		11,765	11,435	13,936	14,609	12,866
各室稼働状況(%)	研修室1	41.7	43.2	44.2	42.3	39.2
	研修室2	47.6	48.6	51.7	52.5	52.8
	談話室	51.1	47.5	42.1	40.6	37.9
		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数合計(単位:人)		33,001	37,043	38,185	42,253	37,797

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則に従い、開館日、開館時間を遵守している。 ②事業計画に即し、勤務ローテーション表を使用するなどして、館の管理・運営が支障なく行えるよう計画的に人員を配置している。 また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 ・嘱託職員 4名 ・臨時職員 12名 (全16名のうち教員資格保有者 12名) ③事業計画に即し、施設の利用紹介事業開催案内などの情報を、広報ぎふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、施設への要望や職員の対応など、施設、設備、接客等に対する要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。 また、職員全員が共通認識を持てるように毎月館内会議を開き、利用者側に立ったより良い接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進 自主事業	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・下半期利用状況:利用者数 33,001人(前年同期 38,185人) 利用団体数 2,216団体(前年同期 2,489団体) ②講座事業 ・冬期少年講座: 21講座開催 参加者 404人 (定員:390人 応募者:428人) ・定期少年講座: 2講座開催 延べ参加者 60人(3月末現在) (定員:46人 応募者:22人) ③相談事業 主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 ・下半期相談件数:88件(前年同期 73件) ④学習拠点支援事業 小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 ・下半期利用者数: 2,177人(前年同期 1,875人) 自主事業 親子わくわく講座: 3講座 延べ参加者 42人(3月末現在) (定員:40家族 応募者:16家族33人)

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②警備業務</p> <p>③消防用設備維持点検業務</p> <p>④自動ドア保守点検</p> <p>⑤ねずみ、害虫等の防除等</p> <p>⑥空調設備の調節、管理</p> <p>⑦照明設備の調節、取替</p> <p>⑧貯水槽清掃業務</p>	<p>①⇒日常清掃：臨時職員による清掃を日常的に実施。 定期清掃：再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。</p> <p>②⇒職員による日常点検：開館日に職員が、出勤時と退館時に日常安全点検を実施。 機 械 警 備：再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。</p> <p>③⇒再委託業者による消防設備保守点検を実施。</p> <p>④⇒再委託業者による安全点検を実施。</p> <p>⑤⇒害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を行っている。 屋内及び屋外の病害虫調査実施。</p> <p>⑥⇒館内の温度等に気を配り、こまめなスイッチのON/OFFで館内の温度調節を実施。暖房温度を19℃に設定し、エコオフィス運動を実施。</p> <p>⑦⇒館内の照明について、日常点検時に気を配り、切れた照明があれば 随時交換を実施。また、利用者からの指摘等があれば即交換を実施。</p> <p>⑧⇒再委託業者による清掃・点検を実施。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集。 (1階ロビー誘導灯取替修繕、体育室床一部張り替え修繕、階段踊り場非常灯修理、男女トイレ污水管修理、誘導灯設備修繕、調理室ホワイトボード張替修繕 等) <p>○職員による修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義室スクリーン補強修理。(11月27日) ・ロッカー等への倒壊防止器具の取り付け。(12月14日) ・駐車場の白線引き直し。(12月17日) ・2階トイレ水漏れ修理。(12月17日) ・講義室のドアノブ交換。(1月10日) ・談話室スクリーン交換。(11月中旬):他施設で余っていたものを再利用 ・身障者駐車場の新設及びマーク看板の取り付け。(11月30日)

<p>危機管理・ 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施。 ・個人情報保護担当者を配置。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による定期安全点検の実施。 ・緊急地震速報を利用した消防訓練の実施。 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備。 ・災害時の一時避難所開設準備。(大雨、洪水、暴風雨警報発令時) ・また、「青少年会館危機管理マニュアル」も作成し万一の場合の対応に備えている。 ・基礎知識と対応を学ぶため、防災研修会(12/5)を実施。 <p>③岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対応策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。</p>
-----------------------	---	--

●利用者評価

<p>利用者アンケートの 実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての施設利用団体に手渡しでアンケートを実施。 ・アンケート質問項目を、3月から改正。 「利用回数」 : 初めて・複数回 「全体の満足度」: 大変満足・満足・普通・不満・大変不満 「施設、設備」 : 大変満足・満足・普通・不満・大変不満 「職員の対応」 : 大変満足・満足・普通・不満・大変不満 <p>②主催事業参加者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。 ・上半期に、「初めての利用か 複数回目の利用か」の設問を新たに設け、属性に関するモニタリングも継続。 ・アンケート項目は、「講座を何で知ったか」「何回目の参加か」「講座は楽しかったか」「感想」
---------------------------	--

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 2,008件 初めて:0.7% 複数回目:99.3% 「全体の満足度について」 354件(※全体の満足度については、3月分のみを集計) 大変満足:63.6% 満足:34.7% 普通:1.7% 不満: 0% 大変不満:0% 「施設設備について」 3,807件 (※2月分までの「要望なし」を「満足」に、「要望あり」を「不満」に置き換えて集計) 大変満足: 5.8% 満足:93.6% 普通:0.2% 不満:0.4% 大変不満:0% 「職員の対応について」 3,899件 (※2月分までの「満足」を「大変満足」、「ほぼ満足」を「満足」、「やや不満」を「不満」、「不満」を「大変不満」に置き換えて集計) 大変満足: 95.8% 満足:3.9% 普通:0.2% 不満: 0% 大変不満:0.1%</p> <p>②主催事業参加者アンケート ◆冬期少年講座 「講座は楽しかったか」 342件 楽しかった:98% 普通:2% 楽しくなかった:0% 「何回目の参加か」 342件 初めて:25% 複数回:75%</p> <p>【主な意見】 「6年生で毎年楽しみにして参加してきた。いろんな花の生け方を学べてよかった。」 (生け花:クリスマス花を飾ろう) 「正月休みに練習をして、いろんなことができるようになってうれしい。」(けん玉名人を目指そう) 「本物の和紙作りを体験出来て、うれしかった。」(紙漉きからの年賀状) 「先生がおもしろおかしく教えてくれた。」(私は天才マジシャン) 「学校ではできない体験ができてとても楽しかった。次回も参加したい。」(パステルアート) 「生まれて初めての料理が作れてよかった。」(冬のおいしい料理) 「みんなと楽しくできてよかった。」(冬のおいしい料理)</p> <p>◆定期少年講座 「講座は楽しかったか」 19件 楽しかった:100% 普通:0% 楽しくなかった:0% 「何回目の参加か」 19件 初めて:42% 複数回:58%</p> <p>◆親子わくわく講座 「講座は楽しかったか」 25件 楽しかった:100% 普通:0% 楽しくなかった:0% 「何回目の参加か」 25件 初めて:32% 複数回:68%</p> <p>【主な意見】 「子どもがかわいい俳句を作ったのでびっくりした。」(親子で俳句) 「もっとやってみたいと思った。」(キーアクセサリーを作ろう)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応する他、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。 また、50万円を超える大規模な修理、工事に関しては、教育委員会と随時協議。</p> <p>【主な意見と対応】 ・「講義室の天井に取り付けてあるスクリーンのネジが緩んでいて危ないです。」 ⇒早々に職員がネジを締め直した。 ・「第1研修室の机のすぐ横が大きなガラスです。直接机があたって破損の心配があるので、考えてほしい。」 ⇒ガラスにあたる部分に、金属の板をあてる補修を、職員で行った。 ・「研修室Ⅱの床が、少し汚れていました。」 ⇒職員が即日確認し、清掃実施。今後の清掃も徹底するよう館内会議で確認。 ・「体育室の床がふわふわしている所があるので、修理してほしい。」 ⇒11月5日・6日に修理実施。 ・「体育室が滑るので、滑らないワックスをかけてほしい。」 ⇒後日、職員でワックスがけを実施。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①条例・施行規則を遵守して、公共施設の設置目的に則って、全ての住民が公平・平等な条件でサービスを受けることができるか。	A	A	A
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	①年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	S	A	A
		(3)情報公開、広報の方策	①利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	①個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①岐阜市教育委員会との連携を密にし、施策を実現し、その一翼を担うため、岐阜市の人づくり、街づくりに貢献すべく取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	①各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	①利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	①講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	SS	S	S
		(5)利用促進、利用者増の方策	①施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	A	A	A
		(6)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	①質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(7)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	①青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	A	A	A
		(8)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①設置目的や安全性、利便性を維持しつつ効率的運用を図り、管理経費削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	①収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	①利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	A	A
		(4)収支計画の妥当性	①削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	①安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	①職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				

安定性 安全性	IV事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	①類似施設等の管理実績を参考にしているか。	A	A	A
		(3)経営基盤の安定性	①公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	①各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	①より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	S	A	A
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	①各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	①夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(8)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	A	A	A
		(9)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価					A	
貢献性	V事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	①地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	A	A
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	①施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での資材等の調達	①資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(5)地元での社会活動等への参加	①地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	S	S	S
		(6)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

- ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。
- ・小学生児童が対象となる主催事業受講者、青年から高齢者にまたがる施設利用者など幅広い層からアンケートをもらい、記入された要望を職員の対応や施設の管理運営に反映できるよう改善を行っている。
- ・主催講座のアンケートには、「初めての利用か 複数回目の利用か」の設問を新たに設け、属性に関するモニタリングもを行っている。
- ・特に主催講座アンケートでは、子ども達に今後期待する講座の聞き取りを行い、館内で協議。毎年度、新規の講座を開催することで興味関心を引き付けている。
- ・事業団各施設からの代表者による「サービス向上分科会」を設置し、施設利用者に対するサービスの向上について隔月で話し合いを持っている。
- ・**今期、分科会ではサービス向上により役立てるため、施設利用者アンケートの見直しも行き、「属性をたずねる設問」の他、「全体の感想をたずねる設問」を加え、より利用者のニーズを把握・分析しやすい様式に変更。回答の選択肢も事業団全体で統一し、3月から実施。分析する体制を整えた。**
- (I-(2)-①、II-(3)-①・(4)-①)

- ・周辺学校へ直接持参してチラシの配布を依頼するほか、広報ぎふ等で主催講座の案内を積極的に行っている。
- ・講座募集チラシの配布されていない校区がないか、館長会で4館各施設の配布先を確認。市内地域を各施設で割り振り、全市に配布する体制を整えた。
- ・ホームページ上にも速やかにチラシや開催講座一覧を掲載し情報提供を行った。
- ・相談事業や学習拠点支援(空き部屋開放)事業、青少年会館利用についても、ホームページ等で案内を行っている。
- ・施設利用については、HPで紹介するほか、地元校区の小学校児童全員に会館利用やサークル加入のお誘いチラシを配布したり、同居する施設の定期刊行物に利用紹介の記事を掲載。利用の呼び掛けを行った。
- (I-(3)-①)

- ・冬期講座、定期講座、親子講座合わせて 26講座 を開催。内容の充実に重点を置き、子ども達の興味関心を引かせるような講座を企画。子どもたちの高い満足度を得るために、講座の検討や見直しを行い、今期も新しい講座を開催した。
- ・下半期に開催した講座の参加者数は、前年度同時期と比較して、296人から506人へと、大幅に増加。(210人 71%増)
- ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談も前年度同期と比較して、15人 20.6%の増加。
- ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供する事業においても、前年同期と比較して、277人 14.8%の増加。「子どもの居場所」としての機能を果たし、地域に貢献できている。
- (II-(2)-①)

- ・**今期、分科会ではサービス向上により役立てるため、施設利用者アンケートの見直しも行き、「属性をたずねる設問」の他、「全体の感想をたずねる設問」を加え、より利用者のニーズを把握・分析しやすい様式に変更。回答の選択肢も事業団全体で統一し、3月から実施。分析する体制を整えた。**
- ・利用者アンケートでは、職員の対応について「大変満足・満足」で 99.7%を獲得。
(※2月分までの「要望なし」を「満足」に、「要望あり」を「不満」に置き換えて集計)。
- ・主催講座アンケートについても、99.3%の子ども達が「楽しかった」と回答している。
- (II-(3)-①)

今期の取組み
に対する評価

- ・主催事業受講者、施設利用者からアンケートをもらい、要望があれば今後の事業や施設の管理運営、職員の接遇等に反映できるよう改善を行い魅力ある会館となるよう努めている。
- ・利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で即日対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。
(要望に対する対応例)
- ・西部福祉会館青少年ルーム体育室天井 化粧格子撤去：以前から「暗い」「地震の際に落ちたら危険」との声があり、撤去を実施。「部屋が明るくなりました。」と好評を得ている。
(Ⅱ-(4)-①)
- ・可能な限り自前による修繕、施設整備に努め、利用者へのサービスを維持しながらコスト削減に努めている。
(Ⅲ-(3)-①)
- ・年度初めに管理経費削減についての施設の数値目標を掲げ、その達成に向けて事業団全体で取り組んでいる。
- ・電気使用量について、北青少年会館では下半期に前年比3.29%(△518kw)の削減を達成。青山青少年会館でも下半期に前年比5.0%(△180kw)の削減を達成。
(Ⅲ-(5)-①)
- ・午前8時45分から午後9時15分までの開館時間を、勤務時間6時間45分の嘱託職員と、勤務時間5時間の臨時職員によって、「早番」「中番」「遅番」の3交代制に分けてローテーションで勤務している。
- ・行事予定表に沿い、適切な人員配置ができるよう勤務割当表(勤務ローテーション表)を例月作成し、効率的で無理のない勤務体制と施設の安全性の確保の両立に努めている。下半期の職員の超過勤務時間は0時間であり、効率よく業務が遂行できている。
(Ⅲ-(6)-①)
- ・青少年会館の職員として、教員OBや資格を持った4名の職員を配置し、その経験を生かして青少年の悩み相談、少年講座の企画やその講師となって運営に携わっている。(全16名のうち教員資格保有者 12名)
(Ⅳ-(4)-①)
- ・平成25年度下半期研修: 育児休業等研修(11月7日)、メンタルヘルス研修(11月21日)、エクセル研修(11月26日)、指定管理研修(11月29日)、防災研修(12月5日)、人事考課研修(1月22日・23日)、ハラスメント防止研修(1月30日)を開催。
- ・事業団各施設からの代表者による「人材育成分科会」(10月9日、12月5日、1月29日)を設置し、現在施設職員が保有している資格の確認と、今後の資格取得計画を立案するなど、事業団全体及び各施設での人材の育成について青少年会館代表者も参加し、話し合いを持っている。
(Ⅳ-(6)-①)
- ・岐阜市中央青少年会館と連携し、岐阜市シニアリーダークラブの学生たちの活動の場を広げるため「子ども・若者 サポートプラン」を実施。各館で開催される主催講座で、子どもたちの活動の補助として学生の活動の場を作り出すと同時に、要支援児童が講座に参加しやすい環境を生み出し、青少年育成支援に取り組んだ。
(Ⅴ-(2)-①)
- ・岐阜新聞・岐阜放送や中日新聞などが提唱する地域の清掃活動などへ積極的に参加(10月26日「第3回 長良川を美しくしよう運動」岐阜新聞・岐阜放送提唱)。
- ・地域の河川清掃に積極的に参加したり、近隣神社の清掃を実施している。
- ・**新規事業として、2月に「こどもスマイルステーション」を全施設に設置。休憩場所を確保し、貸出用の雨カサ15本を常備。地域住民のよりどころとなる施設として、トイレや休憩、雨宿り等の緊急時に利用していただけるよう、体制を整えた。**
(Ⅴ-(5)-①)
- ・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の利用が減少していることから、今後青少年等講座の参加者に会館の利用をPRする、又は会館ホームページの魅力アップなどを通じて、青少年の利用拡大に努めること。 <p>⇒周辺学校へ直接持参してチラシの配布を依頼。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座募集チラシの配布されていない校区がないか、館長会で4館各施設の配布先を確認。 ・市内地域を各施設で割り振り、全市に配布する体制を整えた。 ・施設利用についても、HPで紹介するほか、地元校区の小学校児童全員に会館利用やサークル加入のお誘いチラシを配布したり、同居する施設の定期刊行物に利用紹介の記事を掲載するなどして、利用の呼び掛けを行った。 <p>(I-(3)-①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の会館管理業務の徹底と更なる安全管理に努めること。 ・(25年度上半期の北青少年会館の事故事例の再発防止をふまえて) <p>⇒「青少年会館 安全点検表」を使用することで、職員の出退勤時の館内外巡回を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、「各部屋ごとの最終目視チェック」と、閉館時の「下足箱目視確認」というダブルチェックを徹底することを、館長会及び各館内会議で確認し、各館で実施した。 <p>(IV-(7)-①)</p>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主催講座について、今後も内容の充実に重点を置き、子どもたちの興味関心を生かせるような講座を企画。例年人気のある講座を継続するとともに、子どもたちの高い満足度を得るため、内容の検討や見直しを行い、「新規講座」を開催していく。 <p>(I-(2)-①、II-(5)-①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管課である岐阜市中央青少年会館と連携し、講座事業等での岐阜市シニアリーダークラブの活動の場を増やしていくことで、青少年の育成に貢献していく。 <p>(V-(2)-①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市に配布される情報誌の活用やホームページなどで、会館利用について積極的にアピールし、会館の利用を促進していく。 <p>(II-(5)-①)</p>

●所管課の意見

○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組みに対する自己評価」について

・Ⅰ-(3)-①、Ⅱ-(2)-①・(3)-①、Ⅲ-(5)-①・(6)-①、Ⅳ-(4)-①・(6)-①・(7)-①、Ⅴ-(5)-①について、「指定管理者の取組みに対する自己評価」のとおりとする。

【所管課がSS評価を行った根拠及び指定管理者と異なる評価を行った項目】

- ・Ⅱ-(2)-①について、冬期、定期の少年講座及び自主事業の親子わくわく講座参加者数が対前年同期比71%増と大きく実績を挙げた点を高く評価する。(SS評価)
- ・Ⅰ-(2)-①について、事業計画書の内容どおり業務が履行されているが、利用者ニーズの分析やサービス向上への具体的な取り組みに基づく成果は、来期以降の評価対象となる。(A評価のまま)
- ・Ⅱ-(4)-①について、事業計画書の内容どおり業務が履行されているが、特に顕著なサービス向上とは言い切れないと考える。(S評価のまま)
- ・Ⅲ-(3)-①について、事業計画書の内容どおり業務が履行されているが、利用者へのサービスが格段に向上したというほどではない。(A評価のまま)
- ・Ⅳ-(5)-①について、事業計画書の内容どおり業務が履行されているが、スタッフの管理・監督体制が具体的に改善されたという実績に乏しい。(A評価のまま)
- ・Ⅴ-(2)-①について、事業計画書の内容の範疇で業務が履行されていると考える。(A評価のまま)

【その他の評価項目】

・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり業務が履行されている。

○利用者の増減について

・下半期の青少年会館4館全体の利用者数は、前年同期と比較し、5,184人の減少となった。

利用者数が減少した主な要因は、北青少年会館が8月下旬からの体育室棟の耐震補強等工事のため、12月上旬まで体育室棟、テニスコートが全く使用できなかったこと。また、西部福祉会館青少年ルームについて、定期的な利用が見込まれていた近隣地域の留守家庭児童会が、地域の事情で今期利用を取りやめたことが大きく影響していると考ええる。

全般的には、会館利用団体の構成人数の減少や青年層の利用減少に歯止めがかかっている。

なお、利用者数が前年同期と比較して微増となった青山青少年会館を除いた3館は、いずれも駐車場の収容台数が少ない又は専用駐車場を有していないという共通性があり、現代の車社会においては、団体利用の持続的な増加は困難が見込まれる。

○今後の方針について

・新規の事業開拓に努め、利用者増の方策を具体化するよう望む。

・地元の青少年団体、ボランティア組織等との連携に着手されている点は評価できる。今後は市民協働、団体育成を積極的に進めて、地域貢献はもとより会館の利用者層の拡大につなげてほしい。

●指定管理者評価委員会の意見

・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い業務が履行されている。

・利用者増に向け努力しており、評価できる。

・社会構造全体として青少年の利用者が今後減少していくことは避けられないため、利用の減少に歯止めをかけ、リピーターになってくれるような効果的で魅力的な企画の実施に向け検討されたい。

・青少年会館の活動があまり周知されていないのではないか。チラシを配布する際に、直接会って話をすることで効果が表れると思う。